

皆さまに支えられ ともに歩んで・・・

おかげさまで

「広報ましき」は

500号

昭和 29 年 4 月、木山町、飯野村、広安村、福田村、津森村の 1 町 4 村の合併により誕生した益城町は、今年で 64 歳を迎えました。

誕生以来、町からの情報は「益城町公民館報」や「益城町公報」、「役場だより」などによって伝えられてきました。

そして昭和 48 年度に「広報ましき」に名称を変更。当初、発行はタブロイド判によるものでしたが、昭和 51 年度から様式を冊子形式にリニューアルし、新生「広報ましき」として創刊第 1 号が発行されました。

それから 42 年間、「広報ましき」は、取材や各家庭への配布などにご協力いただいた皆さま、そして読んでいただいている皆さまに支えられながら、町からのお知らせや地域での出来事などの情報を伝え続けてきました。

そして「広報ましき」は、形を変えながら、創刊から 500 号という大きな節目を迎えることができました。

今回は、これまで発行してきた広報紙の記事の中から、当時の町の状況や歴史的な出来事などを紹介しながら、時代の背景と人々の暮らしなどを振り返ってみます。



タブロイド判で発行されていた時の広報紙は、合併後、約 10 年間の町の様子を伝えています。

その時代、高度経済成長期で日本中が活気にあふれる中、益城町でも行政施設等の建設や企業の立地などが相次ぎ、目覚ましく発展していく姿がうかがえます。

